



第20回 ウォーターワーク・コンペティション at Lake NOJIRI 水難救助犬・競技会

第12回水難救助犬認定審査会



とき

2017年10月1日(日)



ところ

長野県信濃町「野尻湖」



主催

一般社団法人日本ウォーターワーク協会(J.W.W.A)

<http://jwwa.info/>



お問い合わせ・申込先/ 妙高動物病院

詳細は <http://jwwa.info/>

TEL0255-86-6658

Email: hiroohh@vet. ne. jp



第20回 ウォーターワークコンペティション（水難救助犬競技会）募集要項
「2017 ウォーターワーク・コンペティション at Lake NOJIRI」

水泳、水難救助の技能を披露する全国大会です。

第12回水難救助犬認定（内水面・湖沼）試験併催（別紙大会競技規定2ページ参照）

- ・日 時 2017年10月1日(日)
- ・場 所 長野県信濃町 野尻湖（信濃町菅川・レストラン「フレンドリー」遊泳場）
- ・主 催 一般社団法人 日本ウォーターワーク協会（J.W.W.A.）

<http://jwwa.info/>

- ・参加資格 S&R（スイム&レスキュー）テスト（有効期間2年）に合格している人と愛犬
- ・競技種目 大会競技規定で指定された種目（別紙大会競技規定1ページ参照）
- ・参加料金 1チーム（1人とイヌ1頭）6,500円（昼食料金も含む）
同伴者は1名2,100円（昼食料金も含む）
別途駐車料金1台1日1,000円必要
水難救助犬認定（内水面・湖沼）審査会受験料は別途 10,000円必要
- ・問い合わせ ウォーターワーク・コンペティション大会運営本部
〒949-2113 新潟県妙高市杉野沢 1661-2
妙高動物病院 星 博夫 TEL&FAX 0255-86-6658
Email hiroohh@vet.ne.jp URL <http://www008.upp.so-net.ne.jp/drhiroo/>
- ・宿 泊 宿泊が必要な方は下記、大型犬連れOKの施設に直接申込みをお願いします。
（宿に直接申し込まれると、料金がお安くなる場合がございます。）
旅館「田端屋」 <http://www.tabataya.net/index.html> TEL 0255-86-6108
- ・その他 ウォーター・ワークに必要な装備
①ウェットスーツ
②ライフジャケット（人用）、犬用は必要に応じて用意して下さい。
③マリンスーツ
④犬のためのおもちゃ・ごほうび・おやつ等。
愛犬は狂犬病を含む各種ワクチン接種済みで、基本的なしつけができています。

・申込み方法

誓約書

私は本大会の参加にあたり、スポーツマンシップと動物愛護の精神に則り、みんなと協力し親睦を深めると共に事故等が起きないように心がけ、万が一事故やトラブルが発生した場合、自己の責任において解決し、主催者には一切責任を問わないことを誓います。
また、主催者が撮影した映像について、一切の権利を放棄することも誓います。

上記誓約事項に同意される方のみ、下記1～7項目すべてをEmail(PCメール)にてお送り下さい。

申込み締切は9月22日(金)必着です。 hiroohh@vet.ne.jp

申込み受付終了後、Emailにて詳細スケジュール等をお知らせします。

- 1：参加する種目（競技会オープン・競技会エキスパート・認定試験）
- 2：選手（ハンドラー）の氏名・年齢・性別
- 3：見学（同伴者）の人数および氏名
- 4：選手住所（〒・住所・TEL・FAX）
- 5：Emailアドレス(携帯メールアドレス不可ですPCメールアドレスを記入してください)
- 6：S&Rテスト合格日と場所（20 年 月 日 場所）
- 7：参加する愛犬について（名前、犬種、性別、生年月日）



第20回 ウォーター・ワーク・コンペティション at Lake NOJIRI 競技規定

1 オープンクラス (大会競技規定)

- ①大会主催者から指定された種目に挑戦します。
- ②S&R (スイム・アンド・レスキュー) テスト (有効期間2年) に合格していなければなりません。
- ③失格条項は適用しません、犬が成功するように導いてやって下さい。
- ④参加犬は生後10ヶ月以上であること。
- ⑤全種目での合格点数=100 ポイント、エキスパートクラスへ進むための最低点数=160 ポイント
最高取得点数=200 ポイント

2 オープンクラス指定候補種目 (候補種目の中から6種目を大会当日発表します)

- 種目1 シングル・レトリートリング (単純な物品持来) (難易度3)
- 種目2 サーチ・レトリートリング (探索を伴う物品持来) (難易度3)
- 種目3 ストレンジャー・レスキュー (他人の救助) (難易度5)
- 種目4 アンダーウォーターレトリートリング (水底からの物品持来) (難易度3)
- 種目5 スイム・ウィズ・ハンドラー (ハンドラーとの遊泳) (難易度4)
- 種目6 ロープ・キャリング (ロープの運搬と救助) (難易度5)
- 種目7 テーク・ア・ボート・イン・トゥー (ボートの牽引) (難易度4)
- 種目8 コンプリヘンシブ (全体の印象) (難易度1)

3 エキスパートクラス (大会競技規定)

- ①大会主催者から指定された種目に挑戦します。
- ②失格条項を適用しますが、最後までやって下さい。
- ③S&R (スイム・アンド・レスキュー) テスト (有効期間2年) に合格していなければなりません。
- ④オープンクラスで160ポイント以上獲得していなければなりません。
- ⑤参加犬は生後18ヶ月以上であること。
- ⑥全種目での合格点数=130ポイント、最高取得点数=240ポイント

4 エキスパートクラス指定候補種目 (候補種目の中から7種目を大会当日発表します)

- 種目1 レイ・ダウン (グループでのフセてマテ) (難易度2)
- 種目2 レトリート・フロム・ブリッジ (栈橋からのレトリートリング) (難易度3)
- 種目3 ロープ・キャリング・アンド・プリング・ア・ボート (ロープの運搬とボートの牽引) (難易度3)
- 種目4 ディレクテッド・ライフライン・プリング (方向指示を伴う浮輪の運搬・牽引) (難易度5)
- 種目5 アンダーウォーターレトリートリング (水底からの物品持来) (難易度3)
- 種目6 ディレクション・レトリートリング (方向指示を伴うレトリートリング) (難易度3)
- 種目7 ライフセービング・フロム・ボート (ボートからの救命) (難易度5)
- 種目8 ストレンジャー・レスキュー (他人の救助) (難易度5)
- 種目9 ロープ・キャリング (ロープの運搬と救助) (難易度5)
- 種目10 コンプリヘンシブ (全体の印象) (難易度1)

各競技種目の詳細は、協会のホームページをご覧ください。

オープンクラス

<http://jwwa.info/オープンクラス>

エキスパートクラス

<http://jwwa.info/エキスパートクラス>



第12回水難救助犬認定（内水面・湖沼）試験実施要領

はじめに

私たちが行っている「ウォーターワーク」は家庭犬として育てられた犬に、水難救助技術をハンドラーとともに習得してもらい、非常時には人命救助の一助になれば良いと考えています。

「ウォーターサーチ」や「災害救助犬」等との違いは出動要請があってから出動するのではなく、偶然目の前で溺者（本人・家族・友人・知人・他人）に遭遇した時、自己責任において判断し、救助することができれば良いと考えています。

目的

水難救助技術を習得することにより、犬および人の健康増進を図ると共に、社会に貢献することを目的とする。

主催

一般社団法人 日本ウォーターワーク協会（Japan Water Work Association）

<http://jwwa.info/>

方法

水難救助犬およびハンドラーとしての技量や資質を確認するため、審査会を開催する。

審査基準

技術の習熟度に応じ下記3種類とする。

- 1級 溺者役は意識がなく、自力で行動ができない第3者を、あらゆる手段を使って救助できると認定される、犬とハンドラーのチームに与える。
- 2級 溺者役が家族以外の友人・知人を、あらゆる手段を使って救助できると認定される犬とハンドラーのチームに与える。
- 3級 溺者役が家族の場合、あらゆる手段を使って救助できると認定される、犬とハンドラーのチームに与える。

審査方法

服従試験と救助試験の2種目を実施し、両方に合格したものを認定する。

なお審査員は協会以外の審査員に委託することもある。

試験科目

試験科目は以下によるものとする。

- 1, 服従試験（4項目）
 - ①レイダウン、②スイム&レスキュー（2年以内にS&Rテストに合格していれば免除）、③アンダーウォーターレトリーブ、④栈橋からのレトリーブ
- 2, 救助試験（2項目）
 - ①2人以上の溺者役の救助
 - ②口答試験（現場状況の把握能力）

